



きら農園、その後…～きらの活動より～



5月のコラムで野菜の苗を植えました！と記事にしてから二か月…野菜たちはこんなに大きくなりました。トマトやナス、キュウリは鈴生り。

農耕チームの努力のおかげで

虫にも困らず、収穫を迎えることができました。トウモロコシも花が咲いてこれからが楽しみです。6月末には収穫した夏野菜でカレーをつくりました！

野菜の皮を剥いたり、ルーを細かくしたり…大量の野菜を煮込んで大鍋で作ったカレーはとても美味しくできあがり、皆さん笑顔で召し上がって下さいました(^)日々収穫されるナスやキュウリは小鍋で火を通し、お弁当のお味噌汁に入れたりしています。まだまだたくさん収穫される野菜たち、次は何の料理に変身するでしょうか？！

ボクラと「チイキ」との繋がり～にこの活動より～

先日、「スイッチバックが見たい！」というご利用者さんがいましたので、他の利用者さん数名とドライブがてら二本木駅に行ってきました。

駅員さんに事情を説明すると、突然の訪問にも関わらずジオラマを使って丁寧に説明していただきました。その上、「見るならいい場所がある」ということで、穴場スポットまで教えていただきました。教えてもらった場所は一般企業の駐車場だったのですが、会社の方からも快く許可していただき、おかげで目の前で見ることができました♪電車とカブトムシの話ばかりですね…



もうすぐ夏休み!!
どこに行きましょかね♪

ようこそ、ららん水族館へ！～ららの活動より

ららんでは毎月季節

に合った制作を考え、皆で楽しく取り組んでいます。6月、考えた「水族館」！！

みんなが作った素敵



な魚たちを使って、水族館のようにできないか悩んだ末、個室の一部屋がなんと水族館になりました！！水族館が出来上がっていくにつれて、「水族館だったら受付と案内係も必要だね！」と子どもたち自身が色々なアイデアを持ち寄って「ららん水族館」は完成しました。水族館が開館したことで、多くの方に“普段のららん”を見ていただけてとても嬉しく感じるとともに、子どもたちが保護者の方をららん水族館に案内し、一緒に見ていただいていた姿がとても嬉しくて、微笑ましくて、幸せでした。残念ながら、ららん水族館は7/8に閉館となりましたが、只今「ららん水族館」を上回る超大作を検討しております。どうぞご期待ください！！

りとるの新しいなかまたち～新入職員ご紹介④

6月13日に入職した大塚です！

障害者施設での経験5年、高齢者施設

での経験数年と経験は豊富ですが、初心

の気持ちで精一杯頑張っていきたいと思

っています！明るく、楽しく、元気良

くをモットーに日々成長しながら経験者

としての自覚を忘れずに頑張ります。御指導宜しくお願致します。



mote 商品のご紹介～「さをり織りの手さげバッグ」～

これから夏本番！みなさんお出かけの予定はありますか？どんな服やバッグで行こうかな？と考えるのもお出かけの楽しみのひとつで



すね。さをりの色合いが鮮やかで目を引きま。お財布や本、お弁当を入れるのに丁度いいサイズ。中はシンプルな無地。小さな内ポケットも2つ付いていて中身が整理しやすいと好評です！

障害の芸術活動支援モデル事業に採択されました！！

社会福祉法人みんなでききる 副理事長 片桐公彦

念願だった「厚生労働省/障害者の芸術活動支援モデル事業」の採択が決定しました。これまでいろんな助成金やモデル事業の採択を受けてきましたが今回は格別に嬉しいできごとでした。このモデル事業は平成26年度から厚生労働省が実施している事業で、芸術活動を行う障害のある方や家族、福祉事業所等で芸術活動の支援を行う者を支援するモデル事業を実施し、その成果を普及することにより障害者の芸術活動の支援を推進することを目的とする事業です。具体的には「障害者芸術活動支援センター」を設置し、人材の育成や研修事業、企画展の開催、調査、発掘、関係者のネットワークづくり、著作権保護のための研究などを行います。

昨年度「みんなでききる」ではアール・ブリュット展を開催しましたが、実は「りとるらいふ」の時代から障害のある方のアート活動には、熱心ながら細々と続けていました。当時は現場が忙しかったり、専従でアート活動に取り組む余裕がなかったりしていましたが個人的に障害のある方々の企画展を覗きにいたり、ちょこちょこ手伝ったり、図録を読み漁ったりして、そのモチベーションはずっと維持していました。

「りとるらいふ」と「桃林福祉会」が合併して1年後、合併1周年記念事業として「アール・ブリュット展in上越」をあすとびあ高田5階の「ミュゼ雪小町」にて開催し、上越市で初めてのアール・ブリュットの風が上陸しました。その反響は凄まじく、本当に驚くほど「また開催してほしい」「もっとたくさんの作品が見たい」という声をいただきました。その声を受けて、今年度も同会場で7月23日から8月14日にかけて「アール・ブリュット展in上越2 この世界の愛し方～Everything is in this world～」を開催することになりました。オープニングセレモニーは7月23日(土)の10:00から行われ、翌日7月24日(日)13:30からはアール・ブリュット作品創作現場をつぶさに記録した映画「アール・ブリュットが生まれるところ」の上映会を日本最古の映画館のひとつといわれている「高田世界館」で開催いたします。企画展、映画上映会ともに無料ですのでお気軽に会場にお越しいただきたいと思います。

こうした活動の延長線上に、私としては障害のある方々の芸術活動をもっと広めたいし、もっと言えば、こうした活動を上越だけでなく新潟県内全体に染み込ませていきたいと考えるようになりました。そこで先述したような厚生労働省のモデル事業に手を挙げ、私たちが考える環境を作るための取り組みを行おうと考えました。3月末近くに要綱が示され、私はこのモデル事業の採択に向けて書類作成や関係者への協力依頼に奔走しました。これまで数多くの助成金やモデル事業のための申請書を作成してきましたが、このモデル事業に傾けたエネルギーはダントツに高いものになりました。今だから告白すると、他のどの申請ものよりも体力も神経も消耗しました。一方で、このモデル事業が採択され、自分達が整えたい環境を整備することができたなら、イメージしている状態を作り上げることができたなら…と想像すると胸がわくわくしました。消耗と興奮が常に交錯する、そんな日々を過ごしながらか申請書を書き上げました。6月9日付けで採択が決定した時は、もう天にも昇る気持ちでした。その日眠る前に、なぜか涙が止め処なく溢れてきました。

このモデル事業の採択にあたって、たくさんの出会いがありました。この事業は「みんなでききる」が活動する上越市だけを対象エリアをしているわけではなく「新潟県全

域」を対象としています。なので県内の福祉、美術関係者から多くのご協力を得ながら事業を進めていくことになります。ご協力いただく皆さまを紹介すると、長岡市の「中越福祉会」涌井幸夫常務理事、新発田市の「のぞみの家福祉会」樺沢浩常務理事、柏崎市の「ロングラン」西川紀子理事長、新潟市の「新潟しなの福祉会支援センターふらっと」坂井省英センター長、同じく新潟市の「アートキャンブ新潟」近守代表、三条市「NPO法人地域たすけあいネットワーク」野島理恵子理事長、上越市の「森直樹法律事務所」見竹泰人弁護士、「新潟県障害福祉課」「新潟県文化振興課」「新潟県立近代美術館」上越市の「小林古径記念美術館」そして長らく障害のある方々の創作活動を支援されてきた陶芸家の高井進先生です。こうした方々と一緒に検討会を立ち上げ、どうすれば障害のある方の表現や芸術活動が広まっていくかを考え、支援するための支援センターの機能を充実させることができるのか？人材をどのように育成していくのか？を掘り下げていきます。

また今回は新潟市を中心に活動している「アートキャンブ新潟」のスタッフである角地智史(かくち さとし)さんを、みんなでききるのアートディレクターとしてお迎えすることになりました。角地さんは数多くの障害福祉施設を訪問し、彼らの作品を目にしながらか展覧会や研修会の企画、運営を手がけてこられました。このモデル事業では芸術的な専門技術や知識をもったアートディレクターの存在が必須なのですが、幸福な出会いにより、角地さんを中心に作品の調査やその作品の活かし方のアドバイス、研修や展覧会の企画運営、支援センター業務の立ち上げなど多くの場面で活躍していただく予定です。

この仕事に携わりながら、ずっと、障害のある人々は福祉サービスが充実するだけでは幸せにはならないのではないかと考えてきました。人は何かを表現し、その可能性の見出しから自分が生きた実感をもつことで、生きた証を残すのではないかとそのことにこそ人が幸せで豊かに暮らせるヒントがあるのではないかと、そんな風に考えてきました。今回のモデル事業の採択や「障害者芸術活動支援センター」の設立はそのことを具体的に型取る大きな一歩になるように思います。

アール・ブリュットの作品に向き合っていると果たして表現とは何か？という根源的なテーマに直面することがあります。彼らの作品を目にし、対面をする時、私たちは言いようのない、身動きすら取れない不思議な感覚を纏わされる瞬間に遭遇するのです。私たちはこれからもアール・ブリュット作品を目撃する度に、言葉にすることのできない「あの感情」を抱きながら日常を生きていくのだと思います。「生きること」「表現すること」の根源を探る拠り所にアール・ブリュットの世界が人々の心の片隅にでも棲み続けることができたなら、それはとても豊かで素敵なことだと思ふのです。

